

平成 23 年 8 月 14 日

生化学検査担当者 各位

静岡県臨床検査データ標準化委員会
実務担当 藺田明広

静岡県標準化事業 東部(沼津・三島・伊豆)地区意見交換会のお知らせ

日頃より静岡県精度管理調査を通し、臨床検査データ標準化事業へのご協力ありがとうございます。

臨床化学部門における検査データの標準化という意味では、静岡県精度管理調査を通し、大多数の施設、項目において概ねデータの収束が確認されております。しかしながら、依然として測定値の外れや標準的な測定法への切り替えが進んでいない施設も見られ、早急に改善を行っていく必要があると思われま

す。今回、県内医療機関の更なるデータの向上を目的に意見交換会を開催したいと思います。

“堅苦しい会ではなく日頃疑問に思っている点などを皆さんと一緒に考えてみたい”それが今回の会の目的です。当日は意見交換がし易いよう異常データが出た際の対処や精度管理に関連した簡単かつ基本的なお話をさせていただこうと思っております。現場で実務を担当されている皆様に多数ご参加いただき、『他施設ではどうやっているのだろうか？』など、日頃から疑問に思っていることをぶつけていただければ幸いです。

本会の趣旨をご理解いただき、若手技師の方や生化学検査経験の少ない方の出席をお待ちしております。是非ご参加ください。

記

日 時： 平成 23 年 9 月 3 日(土)

14:00 – 16:00 頃まで

※ ご意見が活発に出た場合は時間延長致します

場 所： 三島市民文化会館 第一会議室

＜意見交換のテーマと内容＞

1、 異常データ出現時の対処について

話題提供 富士市立中央病院 検査科 鈴木英昭

2、 検体測定に関する基本知識について

話題提供 静岡県立総合病院 検査部 藺田明広

(1) キャリブレーション関連

- ・ キャリブレータの選定について
コントロール血清でキャリブレーションしていませんか？
試薬と標準液を同一メーカーで組み合わせたい理由は？
- ・ キャリブレータのトレース先が重要なわけは？
- ・ キャリブレーションの取り方について
頻回にとるほうがいいのか？
ブランク測定のみがいいか検量線を引くほうがいいのか？
- ・ キャリブレーション結果の確認方法は？
打ち返しの意味と確認の必要性
管理血清、プール血清の使い分け
データの良し悪しの判断はどうか？
トレーサビリティの確認をしているか？

(2) コントロール血清の測定に関して

- ・ コントロール血清の選択はどのようにしたらいいのか？
メーカー指定のもの？市販のマルチコントロール？
- ・ 種類と本数、測定回数、タイミングをどう考えるか？

(3) 精度管理の手法について

- ・ 日々のデータ確認をどのように行っているか？
Xba-R管理図 それとも 精度管理データ表？
- ・ Xba-R管理図をつけるにあたって
平均値、SD 幅はどのようにきめているか？
平均値、SD 幅はいつ更新するのか？

3、 参加者からの質問事項に関する意見交換

※ 事前にご質問いただければ、当日皆さんで討論したいと思います。下記アドレスまでメールいただければ幸いです。

(静岡県立総合病院 藺田明広) shizuoka_pref_ghp_as@livedoor.com